

報道関係 各位

2018年4月21日
株式会社日本レースプロモーション

4月21日(土)～22日(日)
「2018 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース」
2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
予選結果速報

シーズン開幕戦のポールポジションは山本尚貴が獲得！

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦の公式予選が、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807km)で行われ、山本尚貴(チーム・ムゲン)がポールポジションを獲得しました。2位は注目のルーキー福住仁嶺(チーム・ムゲン)が続き、3位には野尻智紀(ドコモチームダンディライアンレーシング)が入りました。

今大会の予選はQ1が硬めのミディアムタイヤ、Q2以降はミディアム、ソフト、2種類のタイヤ選択は自由となっており、Q1では松下信治(ドコモチームダンディライアンレーシング)がトップ、福住仁嶺(チーム・ムゲン)が3番手と注目のルーキーが前評判通りの速さを見せました。

Q2は、全車ソフトタイヤでアタックを開始しましたが、コースオフした車両回収のため赤旗。そこでアタックの機会を奪われた松下、関口雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)、国本雄資(ピーエムユーセルモインギング)等が敗退しました。

山本尚貴選手のポールポジションは、2016年の開幕戦鈴鹿大会以来、通算9回目。

決勝レースのスタートは、明日4月22日(日)13時50分を予定しています。

*記録の詳細は、別途添付公式通知「公式予選総合正式結果表」をご参照ください。



シーズン開幕戦のポールポジションを獲得した、山本尚貴(チーム・ムゲン)

公式予選

Q1 (20分間) 上位14台がQ2に進出。15～19位の順位が確定。

Q2 (7分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (7分間) 1～8位の順位が確定。

・セッションの間のインターバルは各10分

・ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

※Q1=ミディアムタイヤのみ使用可能。

※Q2、Q3=ソフトタイヤ、ミディアムタイヤの使用が可能。

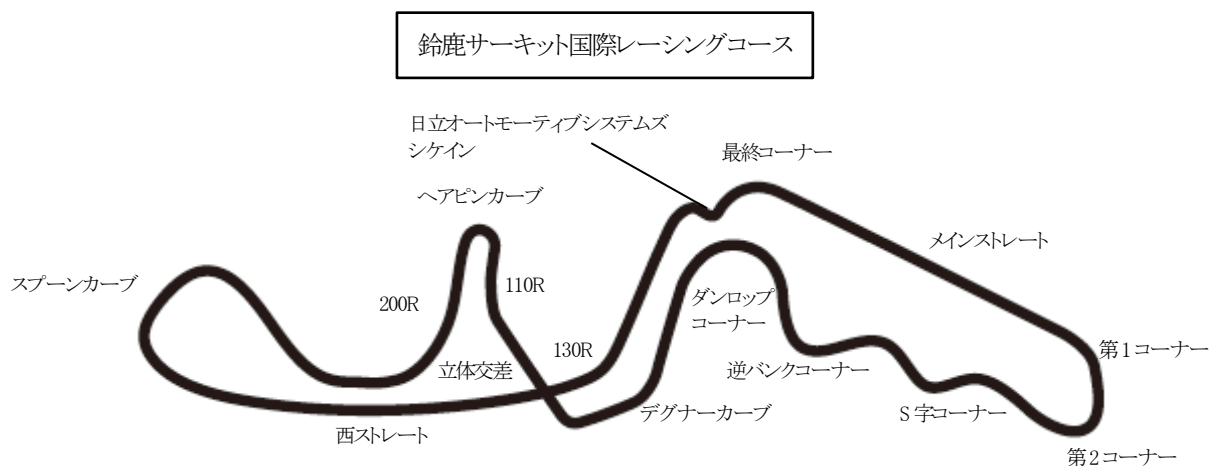
決勝レース

51周 1周:5.807km × 51周 = 296.157km

※決勝レースでは、ソフトタイヤ、ミディアムタイヤ、2種類の使用が義務付けられています。

鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差をはさんで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっています。コース全長は5.807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10～16m。コーナー数は18。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速～高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 エントリーリスト

2018年4月9日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13	日本/埼玉県			
7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi	1996/ 6/25	ブラジル	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA R14A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	1997/ 1/24	日本/徳島県	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	carrozzeria Team KCMG (カロッツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7	日本/広島県			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	館 信秀	TOYOTA R14A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/ 8/25	イギリス			
50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	1986/ 12/ 9	日本/東京都	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	本山 哲	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

(車両: SF14、タイヤ: ヨコハマ)

—開催概要—

- 大会名称 : 2018 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース
2018 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
- 開催日程 : 2018年4月21日(土) 公式予選
2018年4月22日(日) 決勝レース
- 開催サーキット : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)
- 主催 : グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : スポーツ庁／観光庁／三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会／一般社団法人
鈴鹿市観光協会／鈴鹿商工会議所
- 同日開催 : 2018 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦
“コカ・コーラ”鈴鹿 8 耐 出場選抜レース 8 耐トライアウト 2nd ステージ
2018 年 全日本フォーミュラ3 選手権 第1戦 & 第2戦
2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.4

【TV放映予定】

■ BSフジ 決勝戦生中継『2018スーパーフォーミュラ第1戦 鈴鹿』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。実況はピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫とした状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がピットレポートを行います。今大会は、解説者に鈴木亜久里を迎え、鋭くまたわかりやすく解説をします。

○実況 : ピエール北川

○解説 : 鈴木亜久里

○ピットリポーター : 松田次生、東(ひがし)美樹

○放送時間 : 2018年4月22日(日) 18:00~19:55

■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

SF14ラストイヤー、全戦2スペックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りします。

番組に華を添えるのは、進行を担当する本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

《放送予定時間》

第1回 : 2018年 4月 7日(土) 23:00~23:55

2018年 4月 15日(日) 26:30~27:25(再放送)

■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOALします。

詳しくは jsports.co.jp をご参照ください。

第1戦 鈴鹿サーキット

予選 2018年 4月21日(土) 15:30~ J SPORTS 3 <生中継>

決勝 2018年 4月22日(日) 13:30~ J SPORTS 3 <生中継>

【映像の配信】

■ Yahoo! GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

【海外配信/放送】

- motorsport.com (配信)
- motorsport.tv (放送)

【インターネット/SNS】

- オフィシャルWEBサイト
<http://superformula.net>
- 公式LiveTimingアプリ
i OS,Android 対応無料ライブタイミングアプリ「SUPERFORMULA」で検索
- スーパーフォーミュラオフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル Twitter #sformula
https://twitter.com/SUPER_FORMULA

【チケット情報】

- 前売観戦券(2日間有効) 遊園地モトピアパスポート1日券付
大人 : 4,000 円 / 中高生:4,000 円
小学生 : 3,100 円 / 3歳~未就学児:2,000 円
※ 4月20日(金)も入場可
- 前売観戦券(2日間有効) レース観戦のみ
大人 : 4,000 円 / 中高生:1,700 円
小学生 : 800 円 / 3歳~未就学児:600 円
※4月20日(金)も入場可
- グループチケット(2日間有効) 遊園地モトピアパスポート1日券付
3名 : 10,800 円 (1名あたり3,600 円)
4名 : 13,600 円 (1名あたり3,400 円)
5名 : 16,000 円 (1名あたり3,200 円)
※4月20日(金)も入場可
※前売りのみの販売
- パドックパス
中学生以上 : 7,200 円 / 3歳~小学生:2,000 円
※別途観戦券が必要です
※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)にはご入場いただけません。
※前売で完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

●ピットウォーク券

中学生以上：2,100円(各日)／3歳～小学生：無料

※別途観戦券が必要です

※前売で完売の場合、当日ピットウォーク券は販売いたしません

※ピットウォーク時に、傘、脚立のお持込はご遠慮ください

※小学生以下のお客様の入場には中学生以上の方の同伴が必要です

※お子様は迷子にご注意ください

※ピットウォークは、予告なく時間の変更・中止になる場合がございます

レースチケットのご案内 (<http://www.suzukacircuit.jp/superformula/ticket/index.html>)をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
e-mail: media@superformula.net
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135



NGK SPARK PLUGS

SUZUKA 2&4 RACE



予選 SAT 決勝 SUN
4/21・22

NGK SPARK PLUGS SUZUKA 2&4 RACE

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開幕戦 鈴鹿サーキット

2018-04-21 17:50

WEATHER: Fine
COURSE: Dry

SUPER FORMULA

No 1 0

国際レーシングコース 5.807Km

公式予選総合正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	BestTime	Q1	Q2	Q3
1	16	Naoki Yamamoto	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	1'36.911	1'37.518	1'37.227	1'36.911
2	15	Nirei Fukuzumi	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	1'36.991	1'37.559	1'37.274	1'36.991
3	5	Tomoki Nojiri	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M5S SF14	1'37.040	1'37.865	1'36.960	1'37.040
4	65	Takuya Izawa	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	1'37.935	1'38.376	1'37.729	1'37.935
5	17	Koudai Tsukakoshi	Honda HR-417E	REAL SF14	1'37.990	1'37.643	1'37.638	1'37.990
6	1	Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	1'38.342	1'38.411	1'37.745	1'38.342
7	36	Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1'38.471	1'38.178	1'37.696	1'38.471
8	20	Ryo Hirakawa	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14		1'38.171	1'37.812	
9	2	Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	1'37.933	1'38.224	1'37.933	
10	18	Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	1'37.940	1'38.274	1'37.940	
11	64	Narain Karthikeyan	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	1'37.982	1'37.934	1'37.982	
12	6	Nobuharu Matsushita	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	1'38.238	1'37.255	1'38.238	
13	4	Kenta Yamashita	TOYOTA R14A	ORIENTALBIO KONDO SF14	1'46.650	1'38.155	1'46.650	
14	19	Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	1'53.851	1'38.305	1'53.851	
15	3	Nick Cassidy	TOYOTA R14A	ORIENTALBIO KONDO SF14	1'38.703	1'38.703		
16	8	Kazuya Oshima	TOYOTA R14A	UOMO SUNOCO SF14	1'38.941	1'38.941		
17	50	Katsumasa Chiyo	Honda HR-417E	B-Max Racing SF14	1'39.133	1'39.133		
18	37	James Rossiter	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	1'39.143	1'39.143		
19	7	Pietro Fittipaldi	TOYOTA R14A	UOMO SUNOCO SF14	1'39.671	1'39.671		

以上予選通過車両:

予選通過基準タイム (Q1 107%) 1'44.062

^\ナリイ

No. 4 Q2^\スタタイム (1'38.385) 抹消 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第21条12. (危険なピットアウト))

計時委員長: Hirohito HAYASHI

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Takashi MITARASHI

林 裕人

松本 洋

町田 浩志